

○現行制度の改善又は拡充を求めるもの（拡充を求めるもの）

区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 再提案			
種類	<input checked="" type="checkbox"/> 現行制度の改善又は拡充を求めるもの <input type="checkbox"/> 新たな施策の要望又は提案を求めるもの <input type="checkbox"/> 特に市町村への財政支援策等を求めるもの <input type="checkbox"/> その他（ ）		分野	<input type="checkbox"/> 総務文教 <input checked="" type="checkbox"/> 社会環境 <input type="checkbox"/> 経済 <input type="checkbox"/> 建設
要望先	<input type="checkbox"/> 国 <input checked="" type="checkbox"/> 県 <input type="checkbox"/> その他	担当省庁 担当部局 名称	健康福祉部	
件名	8 県設置の地域支援力向上スーパーバイザー制度について			
提案市	駒ヶ根市			
提案要旨	<p>県は財政上の理由から平成28年度をもって「地域支援力向上スーパーバイザー」制度を廃止したが、県においては市町村と連携し、圏域の障がい者総合支援センターの円滑な運営に努めるとともに、併せて、自立支援協議会の活動を通じ、障がい者が安心して地域で暮らすことができるよう総合的な支援体制の整備に努めることを要望する。</p>			
提案理由	<p>障がい者の自立支援のため地域でのネットワークづくり等を目的に、平成19年4月1日から設置されていた「地域支援力向上スーパーバイザー制度」を本年度末をもって廃止する旨の通知が、昨年10月1日付で県からあった。</p> <p>上伊那では、障害手帳を持つ方が年々増える状況にあり、1市町村では対応が難しいケースも増えている中、広域で支援拠点の調整も行えるスーパーバイザーは今後も必要である。</p> <p>昨年度も、県は「精神障害者の地域移行支援を行うコーディネーター」を廃止したが、精神科病院から地域移行をする障がい者への支援は不可欠であり、上伊那圏域では市町村で経費負担をして配置を続けている状況にある。</p>			
現況及び課題等	<ul style="list-style-type: none"> (1) スーパーバイザーの業務（県要綱） <ul style="list-style-type: none"> ・地域のネットワーク構築に向けた指導、調整 ・相談支援従事者従事者等のスキルアップに向けた指導 ・地域の社会資源の点検、開発に関する援助等 (2) 上伊那圏域における活動の状況 <p>年間99時間が目安のところ、上伊那圏域では、 平成26年度 148.5時間、平成27年度（4～8月時点）50.5時間となっている。</p> 			
法令関係	地域支援力向上スーパーバイザー等設置要綱			